



Data

監督: ヴィム・ヴェンダース
出演: ジェームズ・マカヴォイ / ア
リシア・ヴィキャンデル / ア
レクサンダー・シディグ / レ
ダ・カテブ / アキームシェイ
ディ・モハメド / ケリン・ジ
ヨーンズ

■ショートコメント■

◆『アクアマン』(18年) はアメコミの原作ながら、「海底もの」の面白い映画だった(『シネマ 43』287頁)。本作は、それと同じような(?)「海底もの(?)」で、冒頭、美しい海のシーンをバックにさまざまな海底用語(?)が語られるが、その意味は一般人にはサッパリ訳のわからないものばかり。それもそのはず、その海底用語=数式は海洋生物数学者の女性ダニー・フリンダーズ(アリシア・ヴィキャンデル)が探査艇で超深海層からさらに数キロ下に潜る調査をするについての大切な数式らしい。

◆そんな難しい生物数学者の女性と聞くと、どうしても気難いおばさんを想定してしまうが、本作でダニー役を演じたのは『エクス・マキナ』(15年)で美しいAIロボット役を演じた(『シネマ 38』189頁)後、『リリーのすべて』(15年)(『シネマ 38』43頁)、『光をくれた人』(16年)(『シネマ 40』239頁)、『チューリップ・フィーバー 肖像画に秘めた愛』(17年)(『シネマ 43』240頁)で世界的に演技達人なスウェーデン美人女優と認められたアリシア・ヴィキャンデルだ。

◆他方、美術館の中でスマホとイヤホンを使いながら怪しげな会話を交わしているのは、MI-6の諜報員ジェームズ・モア(ジェームズ・マカヴォイ)。彼は、水道事業の指導をするためにケニアに行くと言っていたが、実はある秘密の任務を持ってソマリアに潜入する任務が待っていた。

◆本作は、そんな2人が互いに重要な任務を控えた直前の休暇で泊まったノルマンディーの海辺にたまたま瀟洒なホテルで出会い、さまざまな会話を交わす中で互いに魅かれ合

い、ベッドインを果たす姿を丹念に描いていく。本作を監督したヴィム・ヴェンダースは、『パリ、テキサス』(84年)、『ベルリン・天使の詩』(87年) 等で有名なドイツの巨匠だが、本作前半の登場人物は基本的にジェームズとダニーの2人だけ。後半以降は、ジェームズを拘束するジハード戦士サイーフ(レダ・カテフ) やドクター・シャディッド(アレクサンダー・シディグ) も登場するが、それはあくまでサブ的役割に徹している。

つまり、本作は全編を通じて、せつかくノルマンディーのホテルで出会って恋に落ちながら、互いの任務のために別れていったジェームズとダニーが互いを想いながら懸命に任務の遂行に励む姿を描くものだ。いや、それは逆。懸命にそれぞれの任務に励みながら、互いに恋人のことを忘れられず、気づかぬ続ける2人のピュアな恋を徹底的に描いた映画だ。

◆これぞ絶世の美女！そう思える女優には、オードリー・ヘップバーン、イングリッド・バーグマン、ニコール・キッドマン、日本では夏目雅子、等々たくさんいるが、アリシア・ヴィキャンデルも一目見た時から私がホレ込んだ女優。『エクス・マキナ』ではAIロボットの姿だったから、その魅力が半分しか発揮できていなかったが、本作では天性の美貌の他、知的な会話が全編について回るからその魅力もタップリと。さらには、諜報員のジェームズを積極的に部屋の中に、そしてベッドの中に誘うシークエンスでは、何とも言えない女らしい魅力も・・・。

こりゃ、たまらん。そんな思いで、私はずっとスクリーン上のアリシア・ヴィキャンデルを凝視することに。

◆一切の連絡が絶たれたジェームズを心配しつつ、超海底で「全ての生命は深海から誕生したことを証明する」ための過酷な任務に入るダニーに対して、本作におけるジェームズは「007シリーズ」のジェームズ・ボンドのような諜報員としてのカッコいい姿は全くなく、ずっとジハード戦士に拘束され、連日命の危険にさらされる惨めな姿が続いていく。海に向かって歩かされながら射殺されそうになるシーンでは、「思わずクソを漏らしてしまった」というカッコ悪い演技もしなければならぬから、ジェームズも大変だ。

しかし、拘束されることを予測して歯の中に埋め込んでいたGPSが最後の最後に威力を発揮し、ジェームズは見事その任務を達成することになるので、それに注目！

◆ワンイッシュ映画はいろいろあるが、「もう二度と逢えないかもしれない」をテーマとし、生物数学者のダニーとMI-6の諜報員のジェームズという、全く異業種のプロ同士のピュアな恋愛劇は珍しい。しかも、全編を通じて回想シーンを多用しながら、専門分野の会話を交わす中で互いの愛を深めていく恋愛劇も珍しい。

本作は、アリシア・ヴィキャンデルの美しい姿に注目すると共に、クソ難しいけれども

何とも蘊蓄のある2人の会話にもしっかり注目したい。

2019（令和元）年8月20日記